

項	目次
1	略語集とリスクレベル
2	直近の進展と現在の情勢
4	

### 略語集

IDP	国内避難民
IGAD	政府間開発機構-スーダン、エチオピア、ウガンダ、ジブチ、ケニア、ソマリア、エリトリア、南スーダンを含む8カ国からなるアフリカ貿易圏
MAM	中度急性栄養不良
NGO	非政府組織
POC	文民保護区
SAM	重度急性栄養不良
SSPDF	南スーダン人民防衛軍(以前は SPLA - 2017年8月に改名)
SPLA-IO	スーダン人民解放軍反対派
SSP	南スーダン・ポンド
UN	国際連合
UNMISS	国際連合南スーダン派遣団

### リスクレベル

ロケーション	リスクレベル	コメント	フォーキャスト
Juba city	中	南スーダンの政治情勢が、Juba の治安悪化の主な原因となっている。国内の統治は武装衝突や貧しい経済に影響するだけでなく、犯罪の種類や程度にも同じ影響を与えている。リスクレベルは高に限りなく近く、Juba 近辺で発生している武力衝突が悪化すればたちまちリスクレベルは高レベルとなる。	ジュバの治安状況はよくても一定のままであろう。R-ARCSS の実施における進展は、今後も妨げられるだろう。それを妨げている多くの派閥がある - リーダー間の部族の違いと利己心 - 永続的な解決は難しいだろう。
南スーダンの他地域	要評価	Juba 外 の州、市、町は必要があれば評価する。脅威とリスクレベルの正確な評価を得るには、さらなる調査が必要である。	

この文書はジャパン・プラットフォーム内およびその関係者のみの利用に限ります。この文書は、JPF セキュリティアドバイザーの同意なく、再配布することを禁じます。

以下文書内で“コメント…”とイタリック体で記載され、後述の文章もイタリック体で記載されている場合、筆者の意見を述べており、事実ではないことがあります。

**免責事項:** この文書の目的は、情報と分析をし、アドバイスを提供することです。ジャパン・プラットフォームは、この文書に基づき、読者がいかなる行動や措置をとった場合でも、責任を負いかねますことご了承ください。

## 1. 直近の進展と現在の情勢

### 牛の強奪

2018年12月、全国で牛の強奪が大幅に増加した。2019年1月、Akobo、Bieh、Fangak、Boma、Jongleiの各州は、牛の襲撃、子供の拉致、その他の犯罪と闘うため、合同警察を設立することに合意した。新人のためのトレーニングセンターを設立するために、5つの州はそれぞれ100万 SSP を拠出する予定である。内務省は、州から2,500人のオフィサーを募集するプロセスを開始した。

コメント: 乾季は、牛飼いが牧草地を見つけるために、コミュニティの境界を越えることを余儀なくされるため、牛飼い同士のさらなる衝突が予想される。

### 性的暴行

2018年11月に Bentiu 近くで、MSF は約125人の女性と女兒が強姦、鞭打ち、殴打および強盗にあった後に治療を受けていると報告した。女性を襲った男性の何人かは、軍の制服を着ていたと伝えられている。

### R-ARCSS の実施における進展

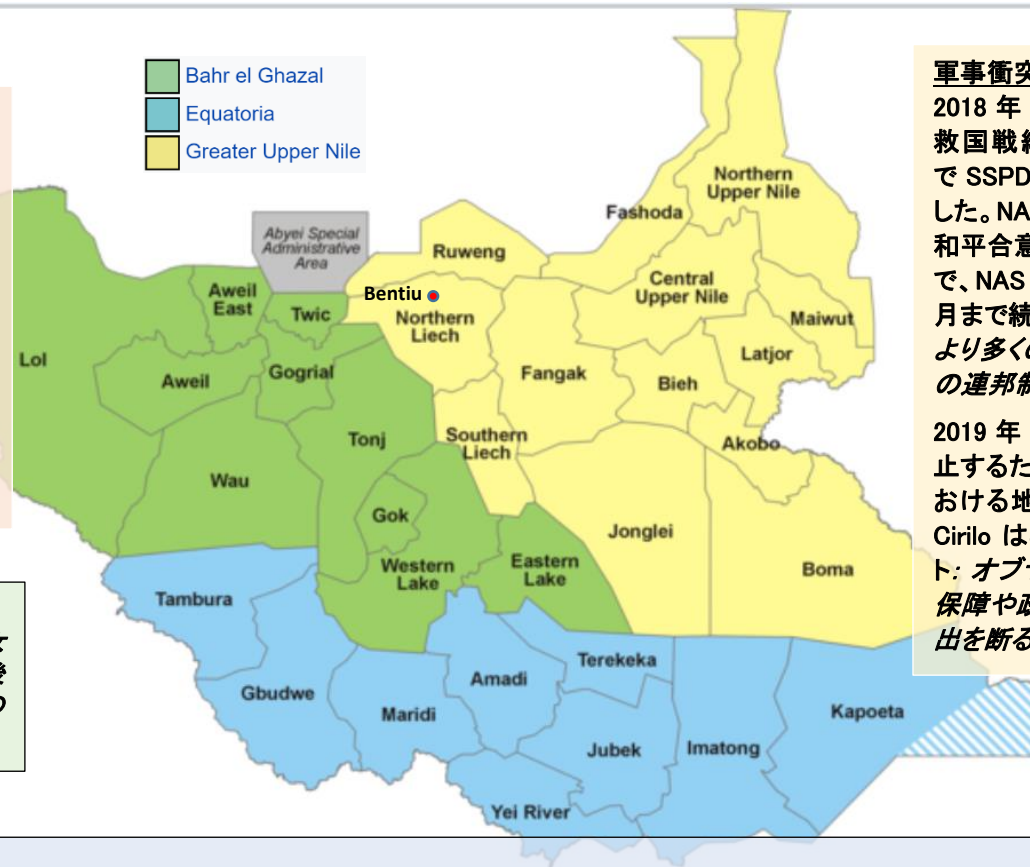
「南スーダンにおける衝突の解決に関する再活性化された合意」(R-ARCSS) は、2018年9月12日にほとんどの戦闘グループによって署名された。

政府と反対派の間で政治的かつ軍事的な信頼を築くためのイニシアチブが、11月18日に Bieh、Torit、Wau、Yei の各都市で、SSPDF と SPLA-IO の軍事司令官が集会を開くことから始まった。また11月には、IGAD は南スーダンに1600人の部隊を配置し、地域防護部隊(RPF)に参加することを発表した。部隊の目的は、R-ARCSS の実施を通して保護とセキュリティを強化することである。

しかしながら、合意の実施についてはほとんど進展がない。12月上旬には国連人権委員会が、和平合意の署名以降も全ての武装グループによる戦闘員の募集が継続していると報告した。また、国連平和維持局長の Jean-Pierre Lacroix は国連安全保障理事会に対し、南スーダンのセキュリティ関連委員会には目に見える進展がほとんどないと語った。これに加え政府はまた、Riek Machar の SPLM-IO 派が未だ南スーダン人民防衛軍(SSPDF)に併合されていなかったと発表した。

より前向きなこととしては、12月に南スーダン反政府派同盟(SSOA)の何名かのメンバーが首都 Juba に戻り、和平合意の実施に関する会議に出席したことがあげられる。

2019年1月には合同防衛理事会(JDB)が、現在スケジュールが2ヶ月遅れており、それが資金不足のための遅れだと発表したことで、進展はまたしても限定的であることが示された-\$5900万を必要とすると述べている。JDBには国家安全保障局の参謀長および局長、警察およびその他組織化された部隊が配置されている。理事会の役割は、過渡前期中すべての部隊を指揮および統制することである。



### 軍事衝突

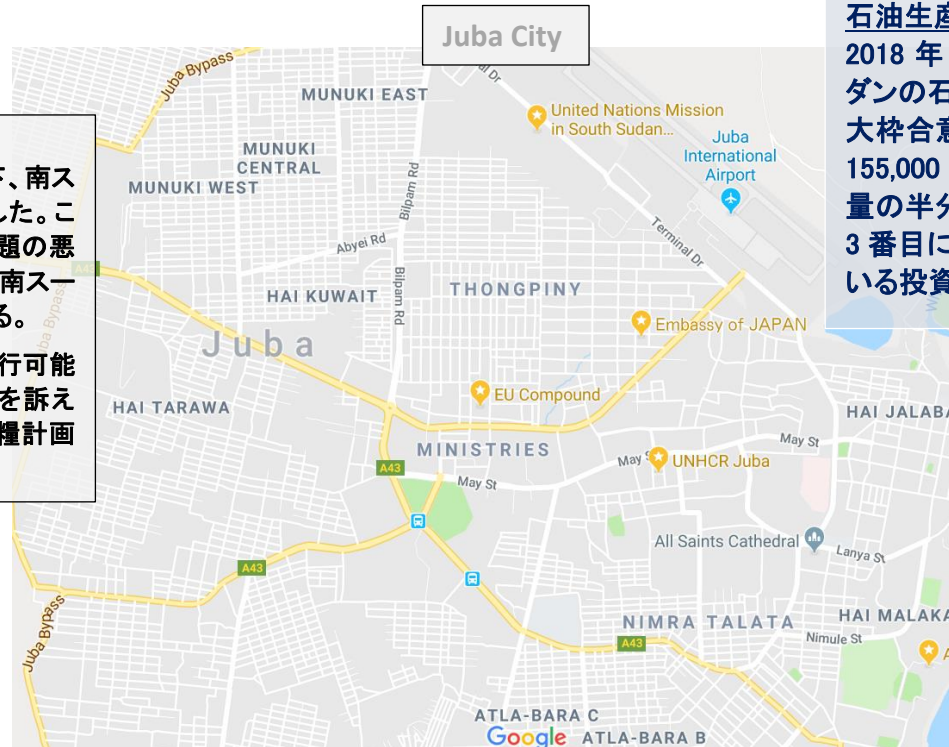
2018年11月、反対派のグループである救国戦線(NAS)が、Southern EquatoriasでSSPDFとSPLA-IOの両方と数回衝突した。NASリーダーのThomas Cirilloは、和平合意に署名しなかった。Yei River州で、NASとSSPDFの衝突と共に戦いは12月まで続いた。コメント: Cirilloは、地域により多くの自治権を与えることになる政府の連邦制度を要求している。

2019年1月、南スーダン政府は暴力を阻止するため、Thomas Cirilloに暫定政府における地位を与えた。1月中旬時点で、Cirilloはこの申し出に応じていない。コメント: オブザーバーは、Equatoriansに安全保障や政治的保証がない場合、彼は申し出を断るだろうと考えている。

### 政府の財政問題

2018年12月、米国は新アフリカ政策の下、南スーダンへの財政援助を削減すると発表した。この決定は予想されており、政府の財政問題の悪化に大きな影響を与えるだろう。米国は、南スーダンにとって最大の財政資金供与者である。

2019年1月、Kiir 大統領は和平合意を実行可能とするため、国際社会に対し財政援助を訴えた。中国は、南スーダンの国連と世界食糧計画に\$700万を寄付した。



### 石油生産の増加

2018年11月、南アフリカと南スーダン政府は、南スーダンの石油産業に南アフリカが\$10億を投資するという大枠合意に署名した。現在この産業は、1日あたり約155,000バレルを生産しており、これは2013年の生産量の半分以下である。国の石油埋蔵量は、アフリカで3番目に多い35億バレルである。その他関心を持っている投資家は中国、インド、マレーシアである。

### 南スーダンへの違法武器輸送

ロンドンに拠点を置く紛争兵器研究所(CAR)の調査によると、おそらくウガンダ政府が2014年から2015年の間に、南スーダン政府への小型武器および軍用機の違法輸出に関与していた可能性があることを示している。南スーダンの内戦では、EUは武器輸出をあらゆる側面において禁止していたにもかかわらず、この数百万ドルの取引は、ブルガリア、スロバキア、ルーマニアのEU諸国で始まり、ウガンダ国防省が受領者とされている。

### Jubaの犯罪事案サマリー

Jubaの犯罪レベルは依然高いままである。以下のサマリーに、2018年12月1日から31日までに報告されている事案を記載する。(情報ソース:NedRisk Weekly Reports):

- 国連もしくは国際NGOコンパウンドへの不法侵入 - 4件
- 国連、国際NGOスタッフへの武装・暴力を伴う強盗 - 1件
- 国連、国際NGOスタッフ住居への不法侵入 - 1件
- 国連施設付近での小型武器による射撃 - 18件
- 国連、国際NGOスタッフを標的とした軽犯罪 - 3件
- 国連、国際NGOスタッフが警察や軍隊に止められハラスメントを受ける - 14件

治安部隊によるハラスメントには、一貫して3つのタイプがある。交通違反の疑いをかけられる、米ドルでの違法取引の疑いをかけられる、そして空港での書類不正である。通常、交通違反や違法な米ドル取引に関わるハラスメントは国内スタッフを標的とし、国際スタッフは空港で標的とされる。

小型武器による射撃はほぼ毎晩の出来事である。後に治安部隊と武装集団の衝突として報告されたものもあるが、ほとんどは原因不明のままである。射撃を推し進めているのは、Jubaと南スーダンにおける小型武器の急増である。

コメント:上記記載のサマリーは、Jubaの広大な人口においてごく一部のみの犯罪のみを代表するものである。多くの犯罪は、貧しい経済、日用品の高騰化、警察や軍関係者への給料未払いなどが影響し発生している。国連と国際NGOスタッフと関連する施設は、認識されている富のために標的にされやすくなっている。



## 2. 人道的状況

### 紛争

長年の度重なる紛争と武力の影響は、人々の生活を破壊し、2019年には、700万人以上の人々が人道的支援と保護を必要としている。

主要な指標:

**IDP数: 200万**

**南スーダンの難民数: 300,000**

南スーダンからの難民数: 220万

### 食料安全保障と生活:

人口の80%以上が絶対的貧困ライン以下で生活しており、2019年1月から3月までの間に人口の半分が深刻な食料不足に陥るだろう。

### プライオリティ:

- 最も深刻な食料不足のための食糧配給と、無条件の現金/バウチャーの給付
- 漁業および生活に迅速対応するキットの配布
- 緊急時の食糧キット

### 健康

1箇所のプライマリヘルスセンターで平均5万人を診ている。わずか約5人に1人の出産において熟練した医療従事者が関与し、妊産婦死亡率は10万人の出生当たり789人と推定される。

### プライオリティ:

- 救命救急医療とモバイルクリニックの設立
- プライマリヘルスセンターと病院の支援
- 最も脆弱なIDPに予防接種をする
- メンタルヘルスおよび心理社会的支援サービス

### 保護

民間人は、性的暴力、拷問、反対派・政府勢力両方からの強制徴兵および拉致を含む人権侵害を定期的を受けている。

### プライオリティ:

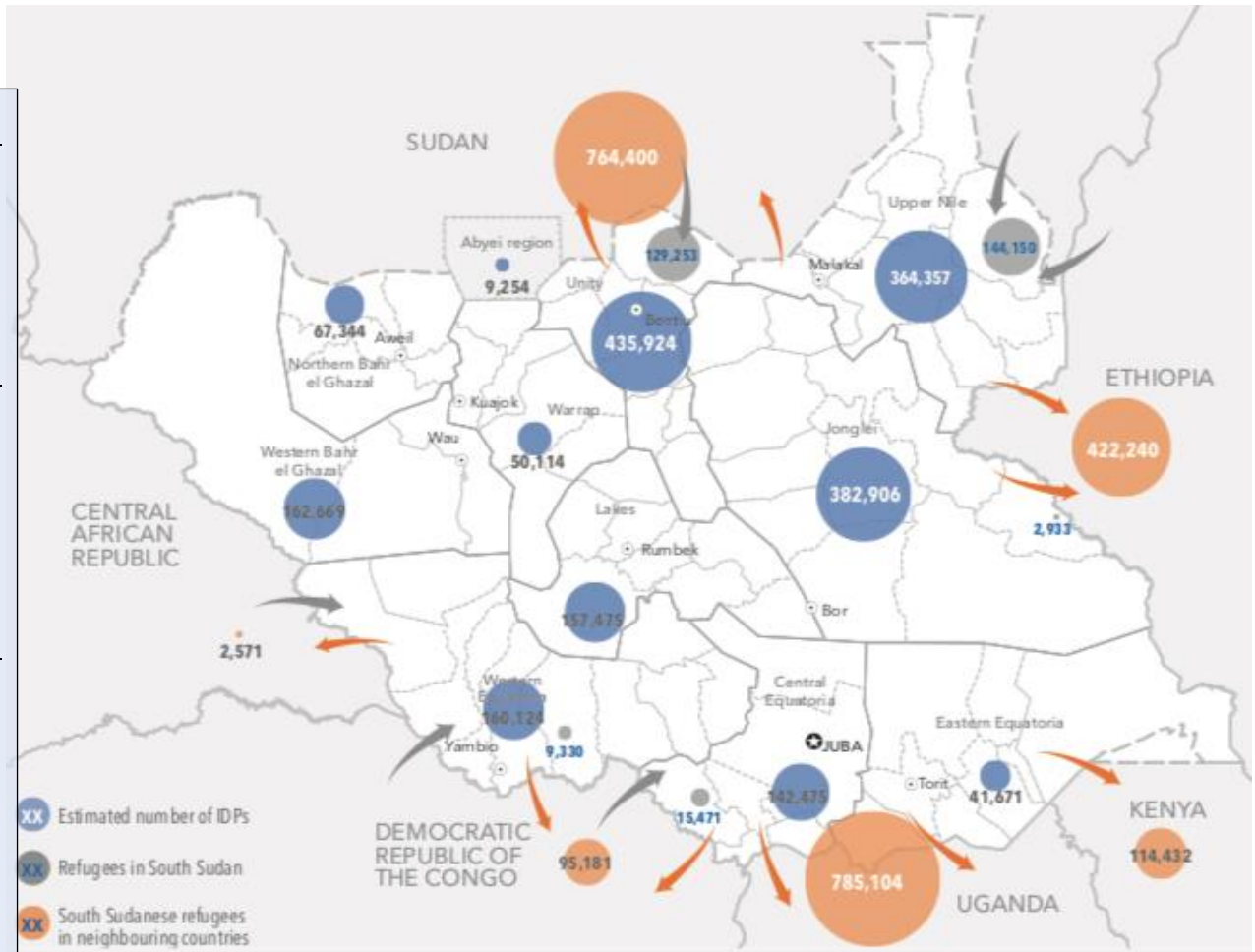
- サービスに関する安全な紹介と情報提供
- 女性と女兒に優しいスペースのプログラミング
- 法的意識、援助およびカウンセリング

### 栄養

安全な水を利用できるのは、たった40%の栄養治療センターだけである。

### プライオリティ:

34の郡のうち、5歳以下のSAMとMAMを管理する



### 教育

南スーダンでは、未就学の子供の割合が非常に高い。2013年以降、3分の1もの学校が損傷、破壊、占領、閉鎖されたりしており、就学すべき70%以上の子供が教育を受けていない。

### プライオリティ:

- 安全な学習スペースへのアクセスの提供
- 学校の再開
- 教材の提供、給餌
- 心理社会的支援などの人命救助および人命維持活動

### レビュー用の主な資料

- <https://reliefweb.int/report/south-sudan/2019-south-sudan-humanitarian-needs-overview>
- [https://www.humanitarianresponse.info/sites/www.humanitarianresponse.info/files/documents/files/ssec-nation\\_wide\\_assessment\\_report-2018-10.pdf](https://www.humanitarianresponse.info/sites/www.humanitarianresponse.info/files/documents/files/ssec-nation_wide_assessment_report-2018-10.pdf)
- [https://www.humanitarianresponse.info/sites/www.humanitarianresponse.info/files/documents/files/cluster\\_objectives\\_and\\_indicators\\_2019\\_final.pdf](https://www.humanitarianresponse.info/sites/www.humanitarianresponse.info/files/documents/files/cluster_objectives_and_indicators_2019_final.pdf)